



Refine_GBPJPY_M1(MT4)の概要（バックテスト結果に基づく紹介）

【設定概要】

- ①通貨：GBPJPY
- ②ロット：0.1
- ③バックテスト期間：2012/1/2～2024/12/31
- ④モデリング品質：99.9%

【取引概要】

- ①総取引回数：2,316回
 - ➡約13年間で年間平均180回前後のペース。最大同時保有ポジションは2つ。
- ②平均獲得PIPS：5.44pips
 - ➡勝ち平均 +29.26pips、負け平均 -38.75pips。リスクリワード比は約0.75（＝勝ち1に対して負け1.3前後）。勝率65.0%。
- ③損益分岐率：56.0%
 - ➡勝率との差は+9.0pt。PF1.46を背景に、バックテスト上で収益性を確認。

【特徴】

- ◆バックテスト上の総損益は +1,434,972円（初期証拠金100万・Lot固定0.1）。
- ◆最大DDは -70,078円（相対DD -6.7%）と比較的低め。
- ◆バックテスト期間全体で勝率65%、PF1.46と、勝率優位性により収益性を確認。

【留意すべき点・リスク】

- ◆リスクリワードは0.75と低めで、勝率依存型の戦略。勝率が低下すると収益性も落ちやすい。
- ◆バックテスト期間内において、年間マイナス年は複数回存在（例：2015年 -52,270円、2022年 -55,830円など）。
- ◆ドローダウンが長期間継続するケースもあり（最大DD回復期間：258日）、中期的な運用視点が必要。

【補足】

本資料はバックテスト結果に基づいて特徴を整理したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
実際の取引環境（スプレッド、約定速度、口座条件など）によって結果が異なる可能性があります。